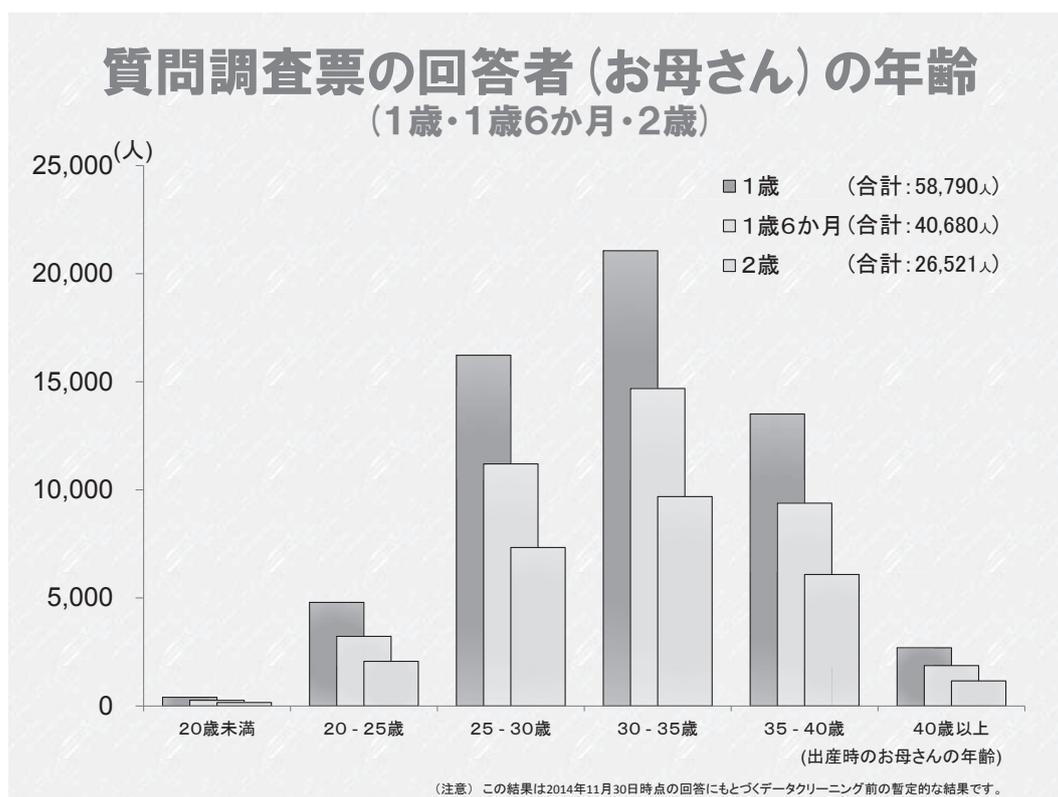


◎ 資 料

1. 全国集計データ分析結果

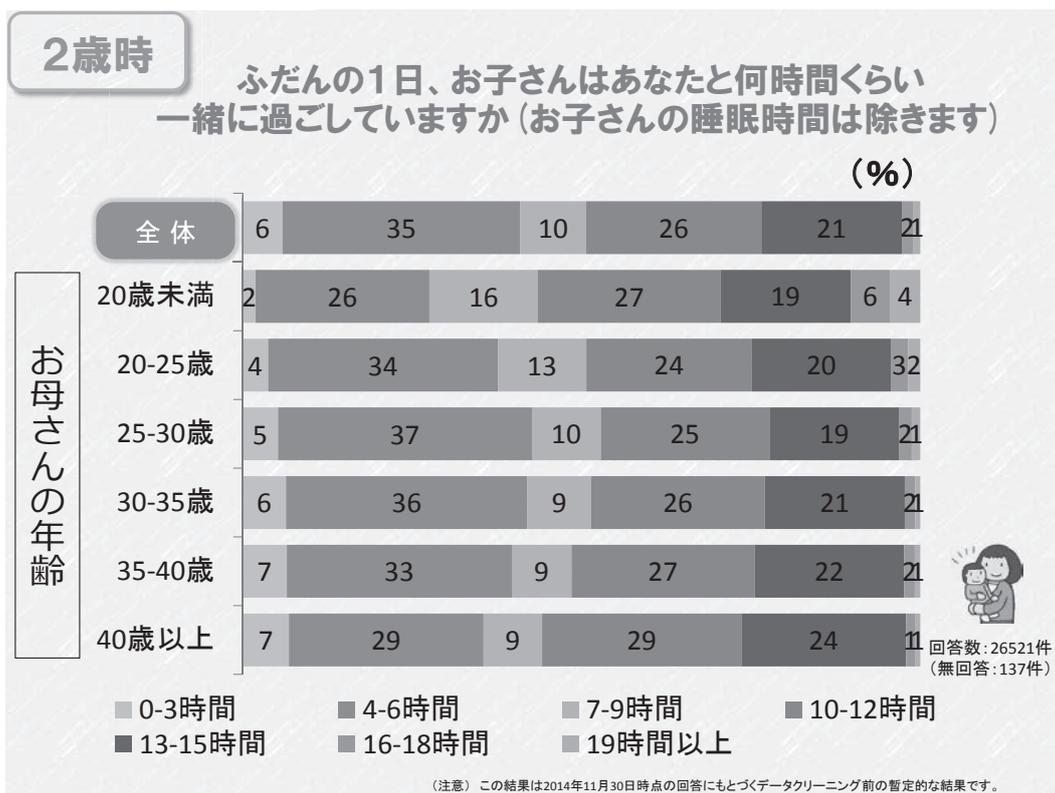
平成27年1月25日に開催された「第4回エコチル調査シンポジウム」(環境省主催)の資料の中から、主なものを掲載します。

(注意) 図表の数値は、平成26年11月30日時点の回答にもとづくデータクリーニング前の暫定的な結果です。

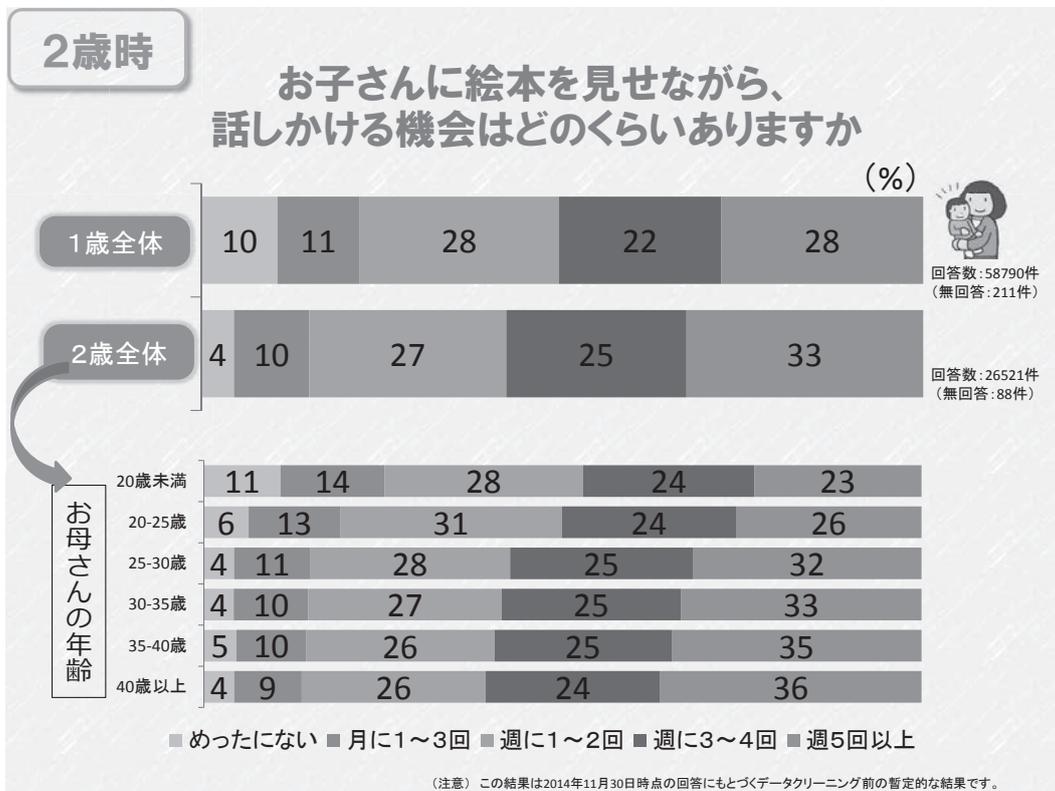


環境省HP「イベントの開催」第4回シンポジウム資料から

【2歳時】



環境省HP「イベントの開催」第4回シンポジウム資料から

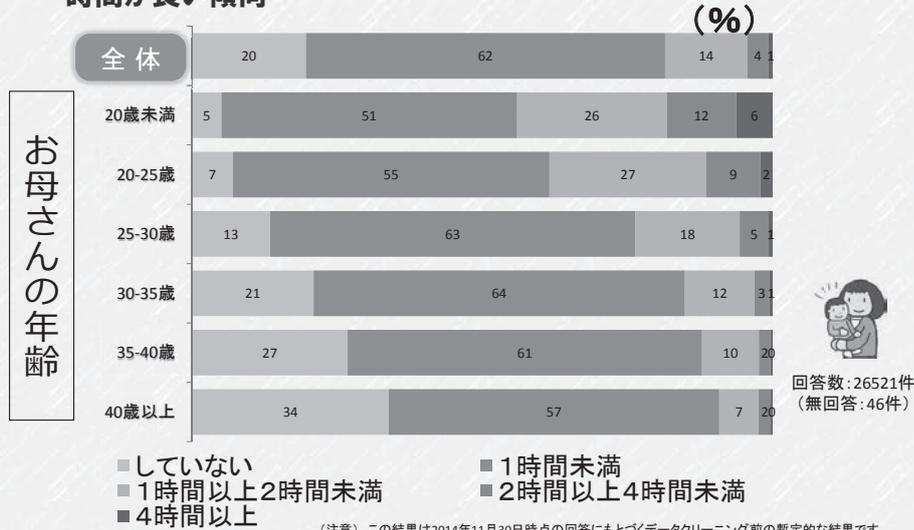


環境省HP「イベントの開催」第4回シンポジウム資料から

2歳時

お子さんと一緒に過ごしている時間のうち、
あなたが、パソコン、携帯電話、携帯情報端末や電子ゲーム機
などを使用している時間はどのくらいですか

⇒ 若いお母さんほど、お子さんのそばで、PCや携帯を使っている
時間が長い傾向

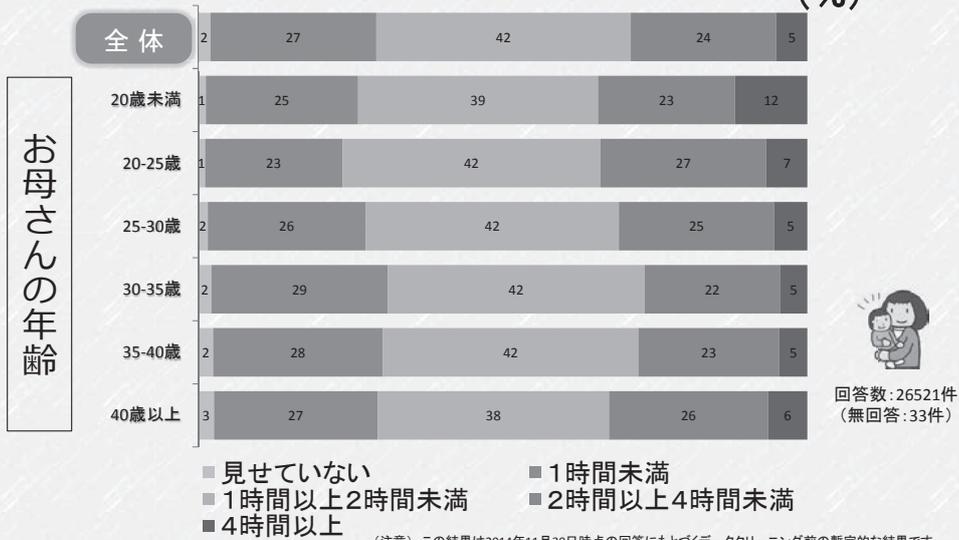


環境省HP「イベントの開催」第4回シンポジウム資料から

2歳時

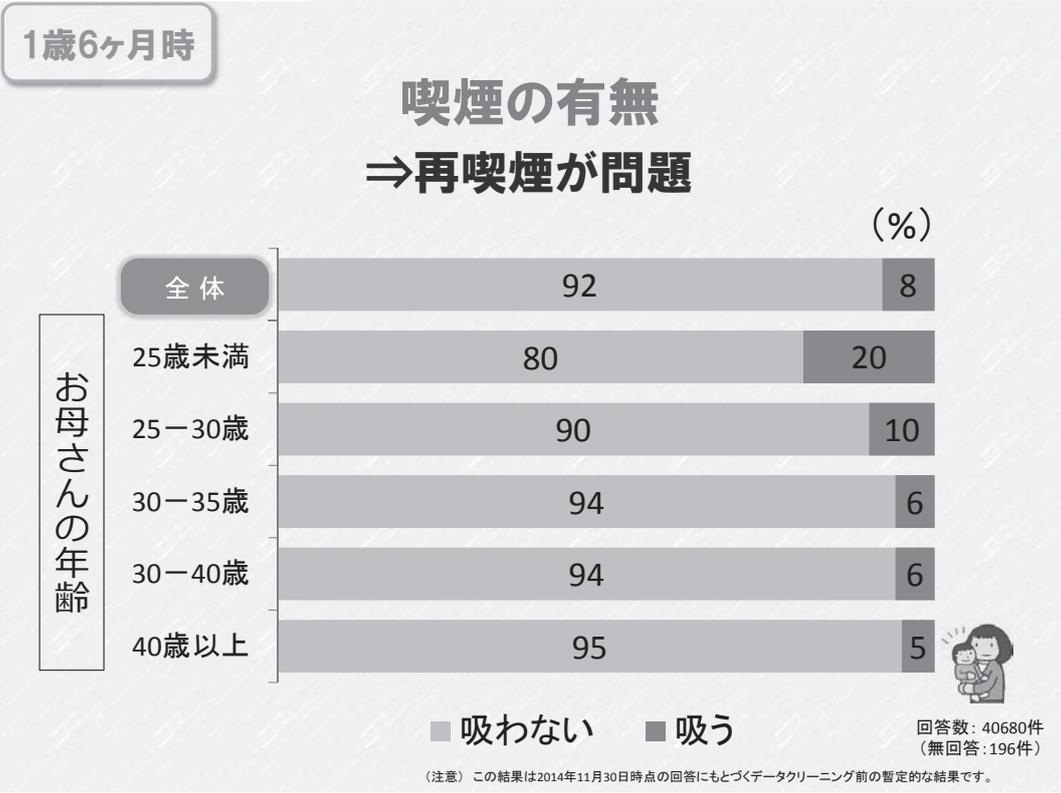
ふだんの1日、お子さんにテレビやDVDなどを
何時間くらい見せていますか

⇒ 4時間以上見せている人が5%いる (%)

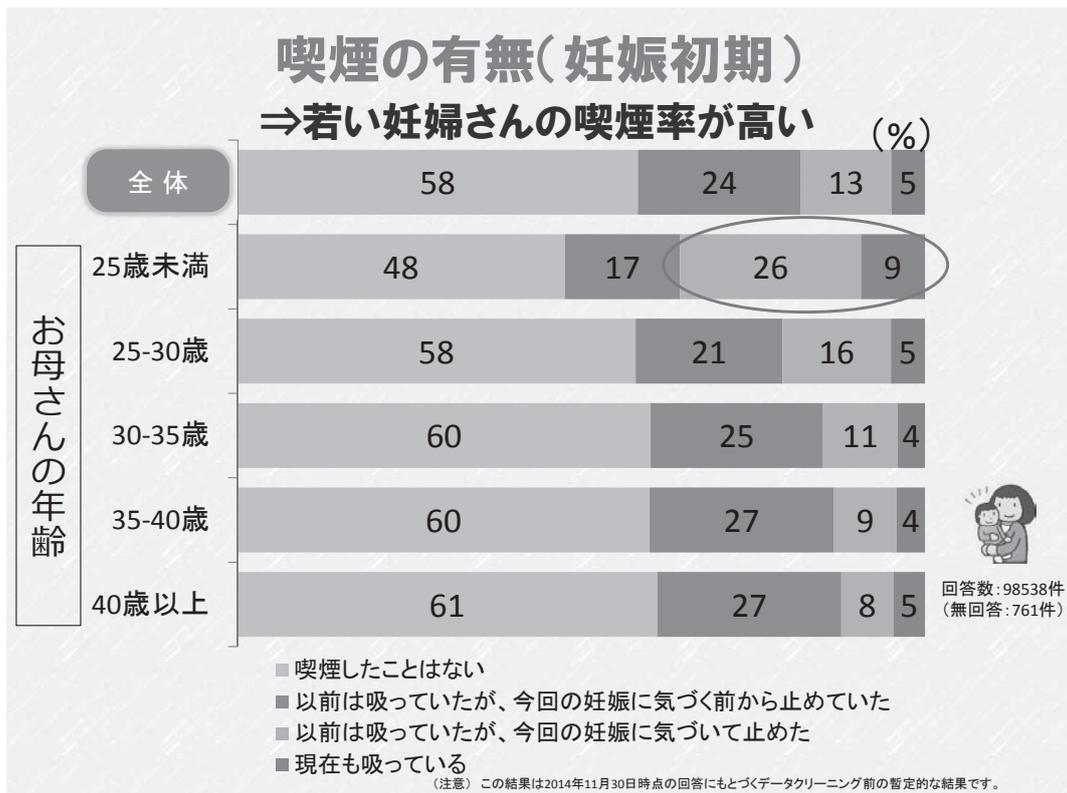


環境省HP「イベントの開催」第4回シンポジウム資料から

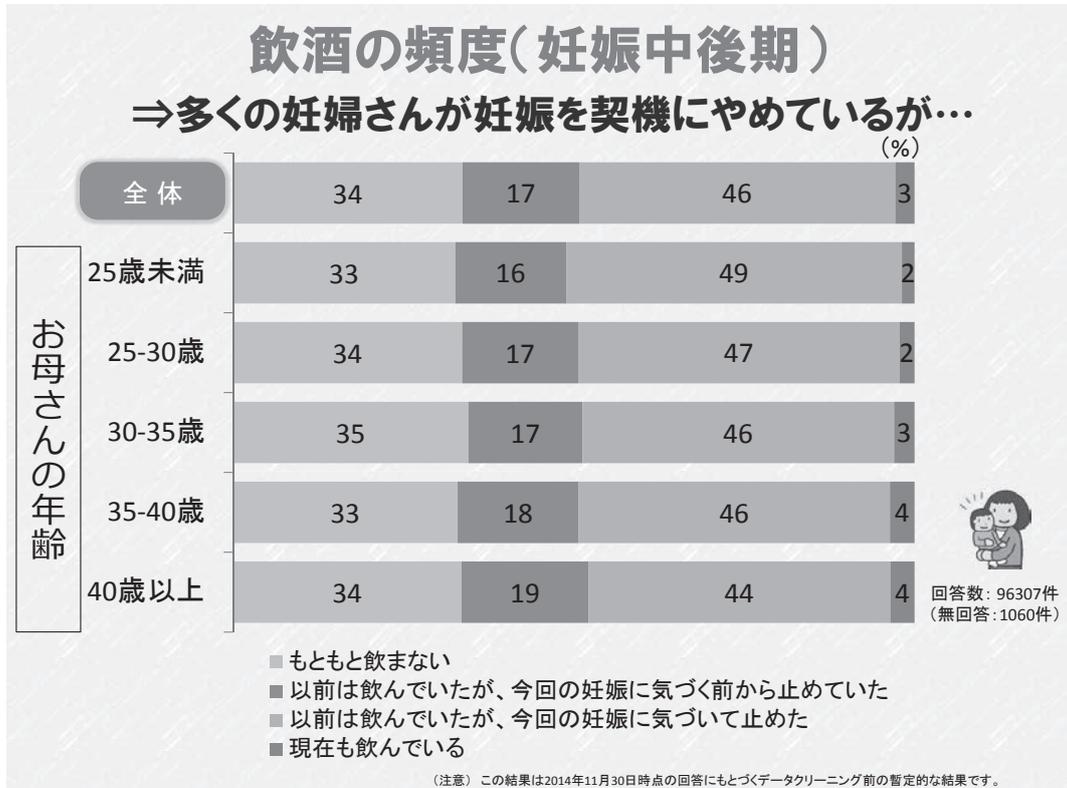
【1歳6ヶ月時】



【妊娠初期～中後期】



環境省HP「イベントの開催」第4回シンポジウム資料から



環境省HP「イベントの開催」第4回シンポジウム資料から

2. 第4回エコチルシンポジウムポスター

「第4回エコチル調査シンポジウム」会場に掲示した福島ユニットセンターのポスターです。

- ・参加対象者人数 13,134人
- ・参加対象者地域 福島県全域(59市町村)

福島ユニットセンターのモットー



「福島で産み育てることのお手伝い」
「顔の見える」参加者とのコミュニケーション
子ども達への確かなエビデンスのプレゼント



	開始時	東日本大震災後、平成24年10月から 福島全県に拡大
調査対象地域	14市町村	59市町村
協力医療機関	19機関	52機関(茨城県1機関)
リクルート予定人数	6,900人	15,900人【+拡大9,000人】
リクルート期間	平成23年1月～平成26年3月(3年間)	平成24年10月～平成26年3月(1年半)

福島県全体で産婦人科約60医療機関のうち51医療機関が協力
福島UCのカバー率 約50%・福島県の妊婦さんの「2人に1人」が参加
6か月児以降の質問票回収率 平均94.5%(平成26年9月30日現在、発送後6か月以上)

【講演会・コンサート】

平成23年度

- 講演会(福島市)
「放射線の正しい知識」
「胎児・子どもの放射線影響を考える」
- 絵本よみかかせ&エコチルコンサート(福島市)

平成24年度

- エコチルコンサート(本宮市、福島市)

平成25年度

- エコチルコンサート(いわき市・郡山市・会津若松市・福島市)
- 絵本のよ・み・き・か・せ(白河市)

【エコチルふれあい会】

6か月前後の児と家族

親子遊び・ベビーマッサージ
小児科医師ミニレクチャー・
茶話会(相談会・ママ同士)

1.5歳児と家族

親子遊び・親子ダンス
小児科医師ミニレクチャー・茶話会

3才児と家族

3B体操・親子ダンス・
小児科医師ミニレクチャー・茶話会

★ふれあい会開催回数

24年度 3回

25年度(約270組の親子) 10回

26年度(約1070組の親子) 32回

【追加調査】

- ①「妊娠合併症発症予知を目的とした代謝物質の調査」
- ②「東日本大震災後の子どもの精神状態と
発達障害との関連についての調査」
- ③「残余血清を用いた研究」(検討中)



全国1095通の応募の結果「**こぼちる**」に決定
～「子どもの健やかな成長」を願う想いを込めて～
福島県会津地域の民芸品、起き上がり小法師をモチーフにし、転んでも
起き上がりやすく元気に育つ子ども(赤ちゃん)をイメージ



絵本のよみかかせ



サンタ助産師による
ベビーマッサージ(5-6か月児)



お母さんの茶話会



サンタ小児科医師による
ミニレクチャー



エコチルコンサートでの
育児相談



親子ダンス(1.5歳児)



エコチルコンサート
(テツandトモと一緒に)



福島ユニットセンター 福島県立医科大学

3. ニュースレター：2014年夏号(平成26年7月発行)



“福島のがえお”を応援します



エコチル調査福島ユニットセンター長
小児科医
橋本浩一

真夏を前に体調を崩されていないでしょうか？

平成23年1月に開始されたエコチル調査は今年の3月末日に参加登録が無事終了しました。全国では目標の妊婦さんの参加登録10万人を達成し、福島県では「2人に1人の妊婦さん」に参加いただき13000人を超える人数となりました。そして、最初の年に出生したエコチルキッズは3才になりました。エコチルキッズは全員、3.11の震

災後、誰もが不安を感じている中に誕生した私たちの希望の星、宝です。様々な状況の中で妊娠し、エコチル調査に参加していただき、そして子育てに奮闘している皆さまに改めまして感謝いたします。ありがとうございます。私たちエコチル調査福島ユニットセンターは「微力ながら福島で産み育てることのお手伝い」をモットーに活動してきました。今年はこれまで県北地区で好評であった「エコチルふれ

あい会」を県内全域で19日のべ34回実施する予定です。エコチルスタッフが皆さまの“えがお”を探しに参ります。真っ赤な顔をし、玉のような汗の子どもたち、日陰ですやすやお昼寝する子どもたち。私たちは皆さまと一緒に子どもさんの成長を見守り、皆さまの“えがお”を応援します。

福島県内での参加人数

13,132人

半年ごとの質問票調査

生後6ヶ月から13才に達するまで、お子さまの成長を見守りながら健康状況の追跡調査をします。



エコチル調査の
これからのスケジュール

この期間、みなさまのご協力が必要です。

みなさまの調査終了までのご参加が、エコチル調査の成果を作ります。

未来の子どもたち
へのプレゼント

4. ニュースレター：2015年新春号(平成27年1月発行)



未来への「お年玉」



新年明けましておめでとうございます。

旧年中はエコチル調査にご理解、ご協力をいただきありがとうございました。東日本大震災の直前に開始されたエコチル調査はこの1月で満4年となり、いよいよ5年目に突入します。最初の年に生まれたエコチルキッズは4歳となり、この春には幼稚園の年少さんへの入園でしょうか。お陰様でエコチル調査は全国では目標の10万人を達成し、福島県では13,134人の妊婦さんにご協力をいただきました。この参加人数は福島県内の対象となる妊婦さんの「お二人に一人」にご協力をいただいていることを意味します。本調査へ寄せられている大きな期待と責任を感じております。また、昨年10月からは、全体の5%の方を無作為に選びご協力をお願いする詳細調査の新たなステージへと乗り出しました。5%の方々には昨年11月からご自宅の環境測定、そして本年4月からは病院での医学的検査、精神神経発達検査もお願いすることになります。

ご承知のことと思いますが、環境省がエコチル調査を実施するきっかけとなったのは、1997年に米国マイアミで開催されたG8環境大臣会合において「子どもの健康と環境」に関する宣言（マイアミ宣言）が出されたことによります。その後、世

界でこの問題の重要性が再認識され、現在、日本、デンマーク、フィンランド、アメリカが国家プロジェクトとして子どもの健康に関する疫学研究に取り組んでいます。福島のご家族の一人おひとりのご協力が世界的な国家プロジェクトであるエコチル調査を支えています。

新たな年を迎え、エコチル調査福島ユニットセンターは、微力ながら「福島で産み育てる」お手伝いをするのが最大の課題であると改めて胸に刻み、日本の未来の子どもたち、そしてご家族に大きな「お年玉」をお渡しできるよう、参加者、関係者の皆さまと立ち止まることなく、一緒に子どもたちの成長を見守り、歩み続けたいと存じます。

本年が皆さまにとりましてより良い年になりますようお祈り申し上げます。

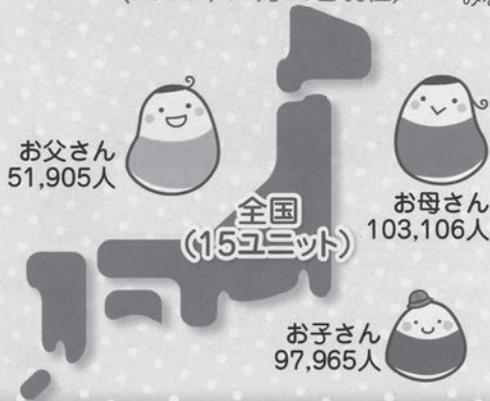


エコチル調査福島ユニットセンター長
小児科医

橋本 浩一

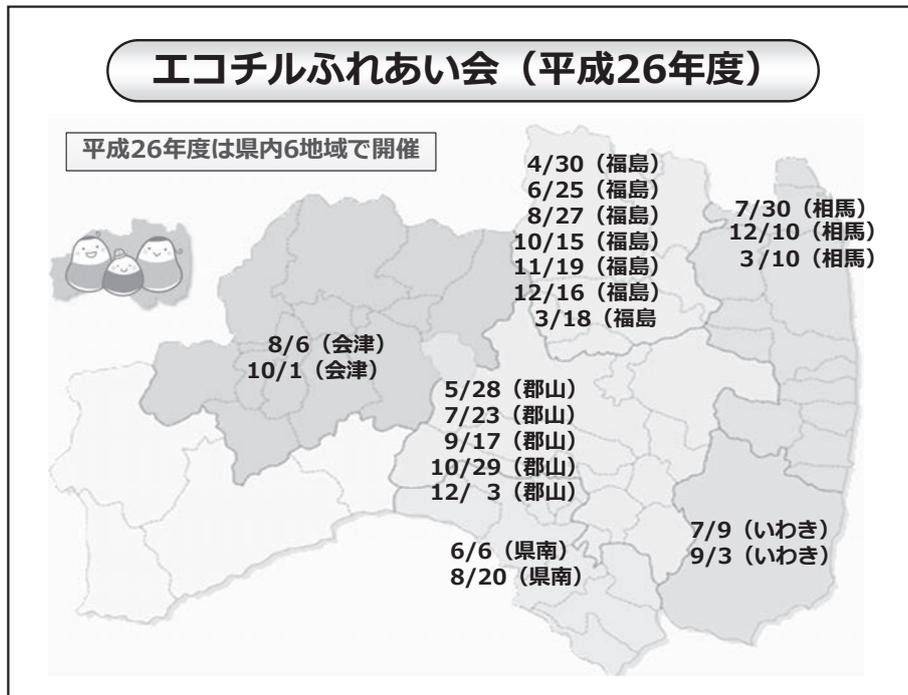
エコチル調査参加者数 (2014年11月28日現在)

エコチル調査に参加されているお母さんは、全国で103,106人、福島県の参加者数は全15ユニットの中で最多の13,134人です。みなさまのご協力に心から感謝申し上げます！



5. エコチルふれあい会の開催状況

○平成26年度の開催状況



平成26年度の開催状況

○各対象児のふれあい会状況

< 6ヵ月児 >

- ① 6ヵ月児対象のエコチルふれあい会 最も人気があり参加率が高い
- ② お母さんと子どもの笑顔に出会えることは、スタッフもげんきになります。



わらべ歌ベビーマッサージ



サンタ医師のミニ講座



茶話会&子育て相談会



3月18日のエコチルふれあい会でした。
 みんなの笑顔がとっても素敵です。
 そしてスタッフも元気をたくさんいただきました

<1.5歳児>



親子ふれあい遊び



絵本の読み聞かせ



親子体操(親子でダンス)



< 3歳児 >

親子体操・(3B体操)



○エコチルふれあい会のアンケート結果

3年間のアンケート回収数は、参加者860人中844人の98.1%である

アンケート結果(ふれあい会)

 3年間のふれあい会参加者数と
アンケート回収数(%)

対象児	参加者数	回収数	回収率(%)
6か月児	738	720	98.4
1.5才児	113	109	96.5
3才児	9	9	100
計	860	844	98.1

アンケート結果

Q 1 開催時期と曜日、日時について

・各地域により、平日の午前・午後2回または午後1回実施

- | | |
|----------------|------------|
| ① 適当：93% | ② 適当でない：3% |
| ③ どちらともいえない：3% | ④ 無回答：1% |

・選べるのが良かった

・1.5時間はちょうどよい

Q 2 ベビーマッサージについて

- ・ベビーマッサージは6ヵ月児を対象

- ① 良かった：74%
- ② まあまあ良かった：25%
- ③ 良くなかった：0%
- ④ 無回答：1%

- ・一度参加したかった
- ・子どもが嬉しそうで自分も一緒に楽しめた
- ・歌を歌いながらは良かった

Q 3 医師によるミニレクチャーについて

- ① 良かった：82%
- ② まあまあ良かった：18%
- ③ 良くなかった：0%
- ④ 無回答：0%

- ・普段じっくり聞けないことが聞けて良かった
- ・小児科の先生の話の直接聞けて良かった
- ・気軽に質問できるのは良かった

Q 4 茶話会・育児相談会について

- ① 良かった：74%
- ② まあまあ良かった：25%
- ③ 良くなかった：0%
- ④ 無回答：1%

- ・月齢が近い子のママたちと話す機会がないので、今日は話せて良かった
- ・普段聞けないことをじっくり聞いてもらえて良かった

Q 5 エコチル調査に参加して

- ① 良かった：88% ② 良くなかった：1 %
③ 無回答：11%

感想

- ・ 郵送されてくるのが楽しみ
- ・ 見守られている感じで育児頑張れる
- ・ 調査票に記入することは育児や生活を見直す機会になるので良い
- ・ 子どもを見直す機会となり良かった
- ・ このようなイベントがあり楽しみである
- ・ 他の人と触れ合う機会があり良い
- ・ 小児科の医師や助産師がいてその場で相談できることが良い
- ・ 子どもが大きくなったときに調査結果が楽しみ

要望

- ・ 調査票が多く面倒、もう少し簡単にしたい
- ・ ふれあい会をもっと回数を増やして欲しい

6. エコチル調査協力医療機関

平成27年3月31日現在

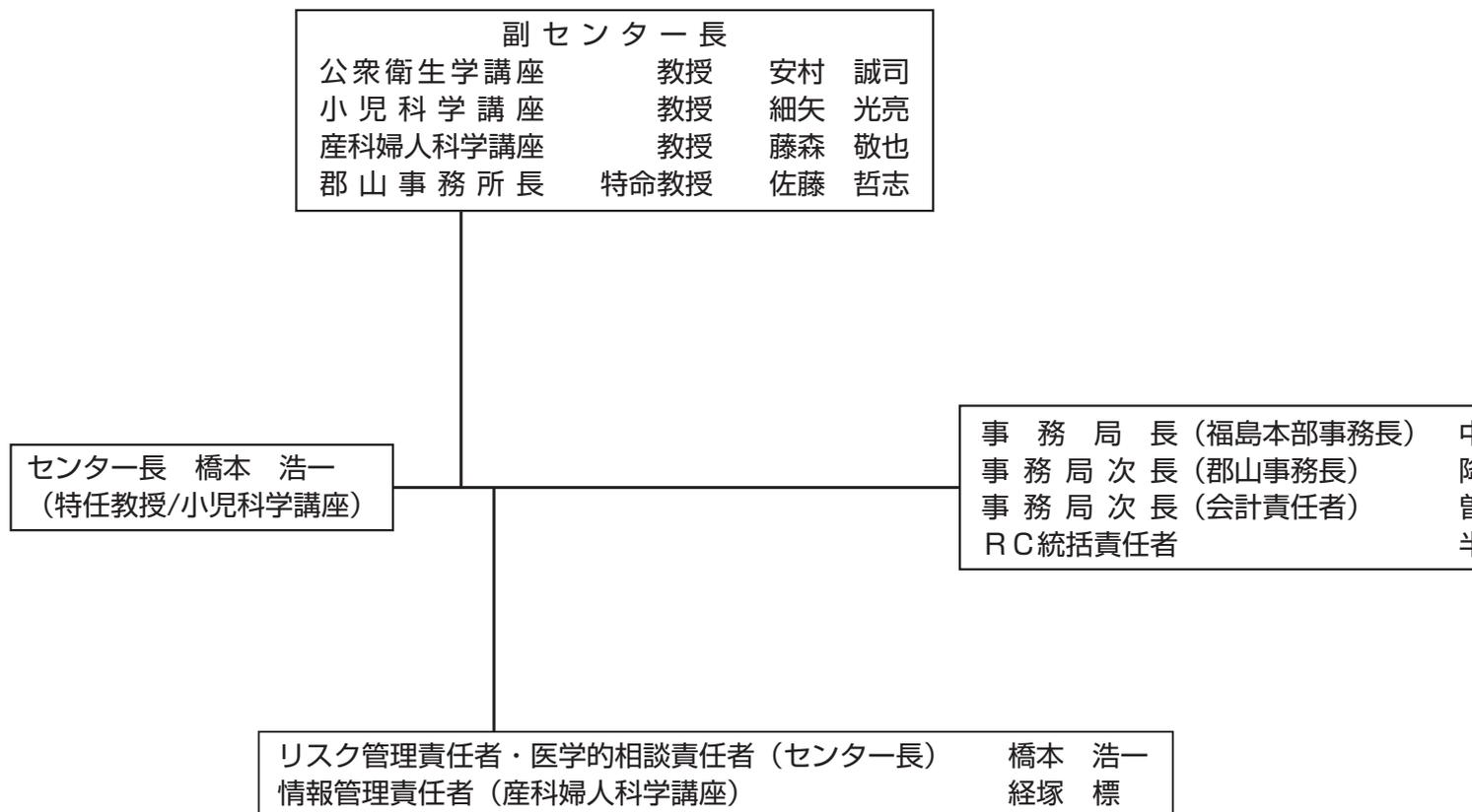
担当	SRL 医療機関 コード	エリア	協力医療機関名	郵便番号	住所	備考		
福島本部 事務所	85	県北 (16)	1 福島赤十字病院	960-8117	福島市入江町11番31号			
	86		2 明治病院	960-8012	福島市北町2-40			
	87		3 いちかわクリニック	960-0112	福島市南矢野目字鼓田6-1			
	88		4 ささや産婦人科	960-0241	福島市笹谷字石田5-15			
	89		5 新妻産婦人科	960-8032	福島市陣場町9-18			
	90		6 本田クリニック産婦人科	960-1101	福島市大森字赤沢97-6			
	91		7 済生会福島総合病院	960-1101	福島市大森下原田25			
	92		8 大原総合病院	960-8041	福島市大町6-11			
	100		9 福島県立医科大学附属病院	960-1247	福島市光が丘1番地			
	341		10 大川レディースクリニック	960-8152	福島市鳥谷野字天神3-11			
	342		11 菅野産婦人科医院	960-8157	福島市蓬莱町2丁目1-11			
	361		12 セイントクリニック	960-0684	伊達市保原町上保原字大地内39-4			
郡山 事務所	402	県中 (11)	13 二本松ウイメンズクリニック	964-0911	二本松市亀谷1-275			
	403		14 社会保険二本松病院 産婦人科	964-0315	二本松市成田町1-553	～平成25年3月31日終了		
	404		15 渡辺医院	964-0876	二本松市正法寺町186-1			
	405		16 医療法人慈久会 谷病院 産婦人科	969-1131	本宮市本宮町字南町裡149			
	406		17 たなかレディースクリニック	960-0209	郡山市御前南5丁目28番地			
	407		18 岡崎産婦人科	960-0107	郡山市安積2-335			
	408		19 寿泉堂総合病院	963-8002	郡山市駅前1-1-17			
	410		20 塚原産婦人科内科外科医院	963-8025	郡山市桑野2-34-12			
	411		21 慈繁会付属トータルヘルスクリニック	963-8841	郡山市山崎171			
	368		22 太田西ノ内病院	963-8558	郡山市西ノ内2丁目5番20号			
	412		23 星総合病院	963-8501	郡山市向河原町159-1			
	414		24 (財)脳神経疾患研究所付属総合南東北病院	963-8052	郡山市八山田7-115			
	415		25 古川産婦人科医院	963-8871	郡山市本町2-10-11			
	367		26 国立病院機構福島病院	962-8507	須賀川市芦田塚13番地			
	416		27 小森山産婦人科医院	962-0052	須賀川市大字西川字後田97-27			
	417		28 片倉医院産科婦人科	961-0971	白河市字昭和町1			
	418		29 白河厚生総合病院	961-0005	白河市豊地上弥次郎2-1			
	419		30 塙厚生病院 産婦人科	963-5405	東白川郡塙町大字塙字大町1-5			
	450		31 岩佐医院	319-3526	茨城県久慈郡大子町大子1828-7	福島県民のみリクルート		
	420		32 舟田クリニック産科婦人科	965-0006	会津若松市一箕町大字鶴賀字下柳原34			
	369		33 竹田総合病院	965-8585	会津若松市山鹿町3番27号			
	421		34 会津中央病院	965-0011	会津若松市鶴賀町1-1			
	423		35 坂下厚生病院	969-6556	河沼郡会津坂下町逆水1856			
	福島本部 事務所		424	相双 (9)	36 あらき産婦人科クリニック	976-0036	相馬市馬場野字山越55	
			93		37 南相馬市立総合病院	975-0033	南相馬市原町区高見町二丁目54-6	
			94		38 レディースクリニックはらまち	975-0014	南相馬市原町区西町2-71-1	
			95		39 西潤マタニティクリニック	975-0001	南相馬市原町区大町1-99	
96		40 原町中央産婦人科	975-0006		南相馬市原町区橋本町1丁目3-2	産婦人科医院を閉院		
97		41 大町病院	975-0001		南相馬市原町区大町三丁目97			
98		42 双葉厚生病院	960-0231		福島市飯坂町平野字三枚長1-1			
99		43 今村クリニック	979-1513		双葉郡浪江町大字幾世橋字辻前47-1	震災で閉院の為、地域運営協議会委員辞退		
457		44 公立相馬総合病院	976-0011		福島県相馬市新沼字坪ヶ迫142	緊急搬送(児のみ)受け入れのみ		
郡山 事務所		425	いわき (9)		45 村岡産婦人科医院	971-8151	いわき市小名浜岡小名4-7-1	
	426	46 渡辺産科婦人科		972-8318	いわき市常磐関船町塚ノ越62			
	427	47 かたよせクリニック産科・婦人科		972-8316	いわき市常磐西郷町字金山70			
	428	48 NOBUマタニティークリニック		970-8044	いわき市中央台飯野4-18-2			
	370	49 いわき市立総合磐城共立病院		973-8555	いわき市内郷御厩町久世原16			
	429	50 森田泌尿器科産婦人科医院		970-8026	いわき市平字作町2-8-1			
	430	51 つくだ町産婦人科医院		970-8026	いわき市平字佃町5-4			
	431	52 月川レディースクリニック		970-8026	いわき市平字童子町2-6			
	432	53 佐藤マタニティー・クリニック		979-0141	いわき市勿来町窪田町通1-124			

エコチル調査中断中

7. 平成26年度 福島ユニットセンターの組織図

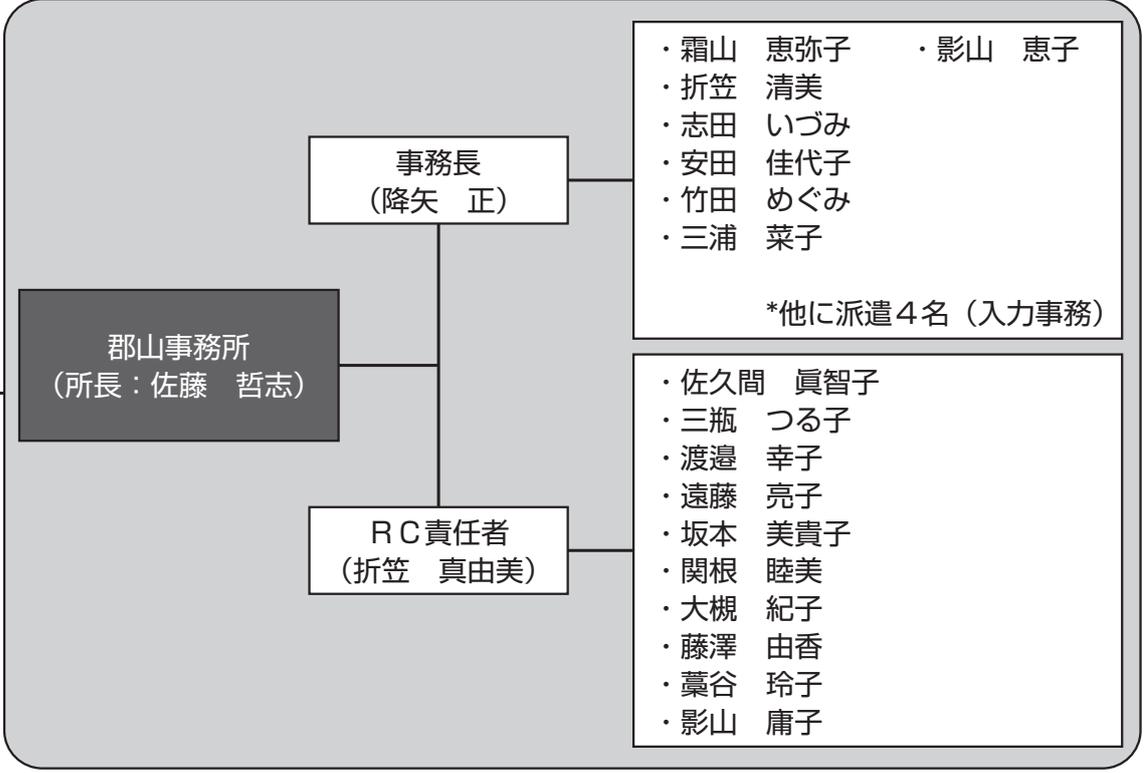
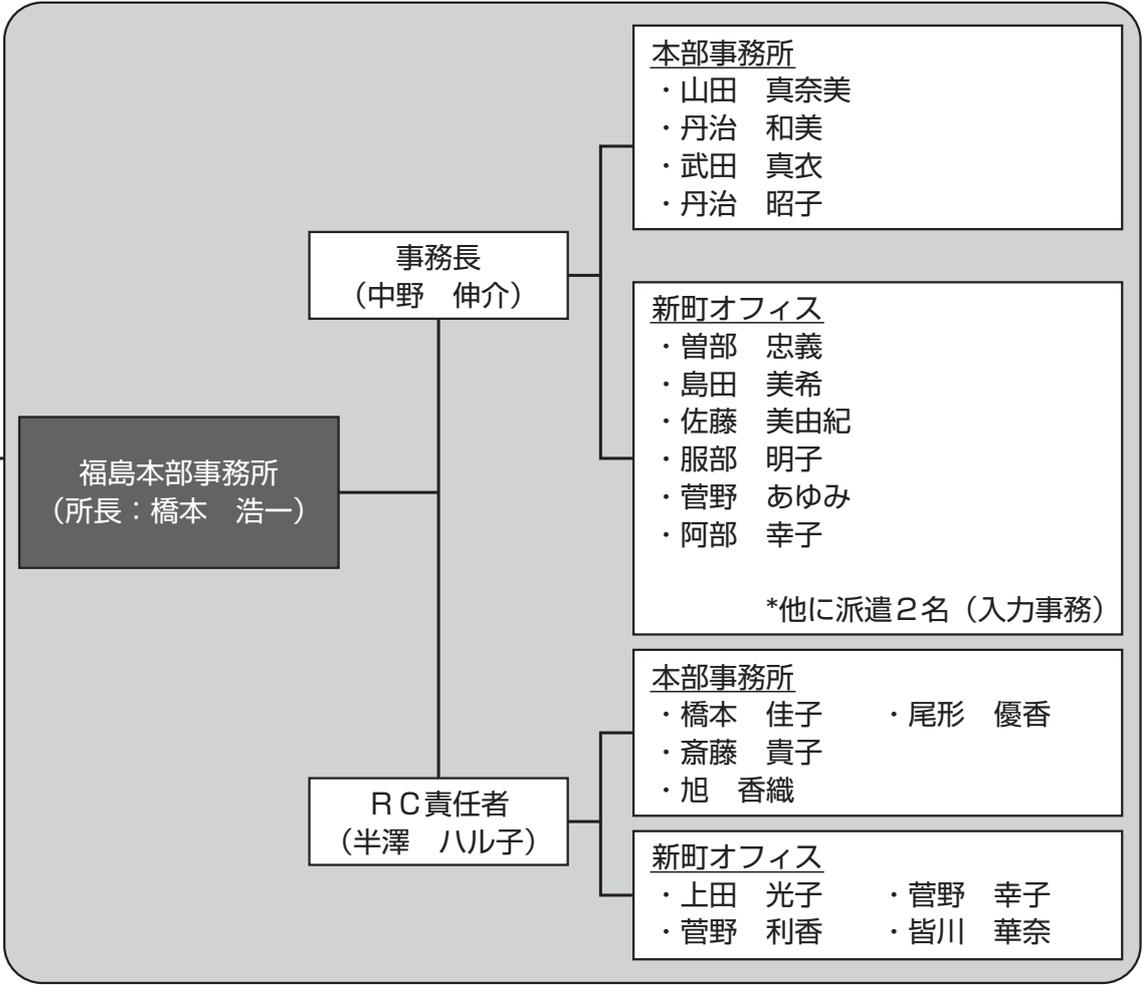
(平成27年3月31日現在)

福島県立医科大学公衆衛生学講座
(大学事務局：企画財務課)



※事務局職員数 39名

- { ・ 福島本部事務所 20名
- { ・ 郡山事務所 19名



中野 伸介
降矢 正
曾部 忠義
半澤 ハル子